

日 時	令和3年5月24日（月）10:00～11:00 第2回経営会議
出席者	平原副市長、小林副市長、林副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事、温暖化対策統括本部長、市民局長、鶴見区長
欠席者	城副市長
議 題	1 「第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画」素案（案）について 【こども青少年局】
議 事 要 旨	<p>1 「第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画」素案（案）について</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画」の策定にあたり、素案（案）について確認する。 ・計画素案について、6月の市会常任委員会において説明後、市民意見募集を実施し、頂いた意見を参考に原案をまとめ、令和3年9月に策定する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期計画（平成28年度～令和2年度）の終了に伴い、令和3年6～7月に計画素案を公表、市民意見募集を実施し、9月に第2期計画（令和3年度～令和7年度）を策定する。 ・実態把握調査等により把握した課題等を踏まえ、計画体系を整理するとともに、一部の取組を新たに子ども貧困対策として位置付けるなど、教育・福祉・子育て支援等、幅広い分野にわたる施策の充実を図り、引き続き、総合的な子どもの貧困対策を推進する。 ・全ての子どもに対する教育・保育の推進を「子どもの貧困対策の基盤」と位置付け、主要施策Ⅰ～Ⅳを整理する。 <p>【子どもの貧困対策の基盤】子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要施策Ⅰ：気づく・つなぐ・見守る <ul style="list-style-type: none"> →区の相談体制の充実、地域における子育て支援の場や機会の拡充、地域における子どもの居場所づくりの推進、児童虐待防止対策 等 ・主要施策Ⅱ：将来の自立に向けた子どもに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> →小・中学生等に対する生活・学習支援の実施か所数や受入数の拡充、子どもたちが多様な体験や、様々な世代との交流を通じて、自己肯定感や社会性等を育むことのできる環境の充実 等 ・主要施策Ⅲ：生活基盤を整えるための家庭に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> →多様な保育・教育ニーズへの対応、低所得世帯等に対する経済的支援、ジョブスポット等を活用した就労支援 等 ・主要施策Ⅳ：子どもの貧困の背景に留意した多面的な支援 <ul style="list-style-type: none"> →ひとり親家庭に対する総合的な自立支援、不登校児童生徒への支援、外国籍等児童生徒のニーズに応じた学校への適応支援や日本語指導等、社会的養護を必要とする子どもへの支援、施設等退所後の支援 等

【主な意見等】

- ・ 厳しい財政状況の中でも、子どもの貧困対策は重要な分野であるため、網羅的に事業を実施するというより、より効果的な事業・取組に財源を投入できるよう、事業効果などについてデータに基づいた整理をすること。
- ・ 計画を策定して終了ということではなく、新たな課題に対しては、各年度の予算編成や関連計画の策定時に、最新の社会情勢等を考慮して取組を整理する必要がある。
- ・ ヤングケアラー等、国レベルで新たに議論されている課題についても本市の実態を把握し、具体的対策を検討する必要がある。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。